



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月5日
東

上場会社名 ヒラキ株式会社 上場取引所
 コード番号 3059 URL <https://company.hiraki.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役 (氏名)伊原 英二
 問合せ先責任者 (役職名)取締役現業支援本部長 (氏名)姫尾 房寿 (TEL) (078)967-4601
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	4,152	△6.6	318	△32.5	326	△30.0	221	△30.4
2022年3月期第1四半期	4,444	0.0	472	8.1	466	9.3	318	8.9

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 245百万円(△19.7%) 2022年3月期第1四半期 305百万円(7.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2023年3月期第1四半期	円 銭 45 46	円 銭 —
2022年3月期第1四半期	円 銭 65 33	円 銭 —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2023年3月期第1四半期	百万円 18,057	百万円 7,616	% 42.2
2022年3月期	百万円 16,735	百万円 7,419	% 44.3

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 7,616百万円 2022年3月期 7,419百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2022年3月期	円 銭 —	円 銭 10 00	円 銭 —	円 銭 10 00	円 銭 20 00
2023年3月期	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
2023年3月期(予想)	円 銭 —	円 銭 10 00	円 銭 —	円 銭 10 00	円 銭 20 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,000	2.0	460	△8.7	460	△8.0	310	△7.7	63 64
通期	15,600	2.6	640	△7.2	640	△7.9	430	△7.8	88 28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期1Q	5,155,600株	2022年3月期	5,155,600株
2023年3月期1Q	284,793株	2022年3月期	284,793株
2023年3月期1Q	4,870,807株	2022年3月期1Q	4,870,807株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9
(追加情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年6月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に伴う活動制限が緩和されたことで徐々に経済活動が正常化に向かう一方、急激な円安の進行やロシアのウクライナ侵攻などの影響による資源価格や原油価格の高騰など、景気の先行きは不透明感を増している状況にあります。

このような環境の下、当社グループは、2021年度～2023年度を計画期間とする中期経営計画において、2022年度の経営方針を「唯一無二の存在へ～新しいモノ・やり方で客数を飛躍的に上げる～」とし、ウィズコロナの時代の人々のよりよい暮らしの役に立つために、価格・品質・サービス面においてヒラキ流を追求することにより、お客様に「驚き」「楽しさ」「満足感」をお届けするべく、オリジナル商品を軸とした通信販売・店舗販売・卸販売の各事業を精力的に展開してまいりました。しかしながら、中国等の新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、オリジナル商品の輸入に遅延が発生し、販売機会の逸失を招くなど厳しい経営環境が続きました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における連結売上高は、41億52百万円(前年同期比6.6%減)、営業利益は3億18百万円(前年同期比32.5%減)、経常利益は3億26百万円(前年同期比30.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億21百万円(前年同期比30.4%減)となりました。

当社グループの報告セグメントの当第1四半期連結累計期間における業績は、次のとおりであります。

① 通信販売事業

通信販売事業におきましては、商品面では、ファミリーEVAサンダル(税込548円)、ポケット付きビッグTシャツ(税込548円)等、低価格の親子展開販売促進商品を投入いたしました。販売促進面では、アプリダウンロード50万件突破記念キャンペーンの他、インフルエンサーによる販売促進商品のPR投稿を継続実施し、新規顧客の獲得および既存顧客のリピーター拡充に努めてまいりました。しかしながら、中国等の新型コロナウイルス感染症の拡大がタイムリーな商品入荷の妨げとなり、カタログの商品展開に影響し受注機会を逸することとなりました。この結果、売上高は24億12百万円(前年同期比11.1%減)となりました。利益面は、減収に加え材料費の高騰および急激な円安により売上総利益率が前年同期比低下した結果、セグメント利益は3億71百万円(前年同期比28.0%減)となりました。

② 店舗販売事業

店舗販売事業におきましては、新型コロナウイルス感染症に伴う活動制限が緩和されたことで徐々に来店客数は増加に転じました。靴の強化策として、オリジナル商品の売り場全面展開に加え、紳士靴・婦人靴における新しいブランド商品の導入を積極的に展開する他、「ヒラキ」らしさを訴求する特価商品の仕入れに注力しました。この結果、靴の売上は、靴専門店10か店の増収と併せて前年同期を上回りました。一方、日用雑貨・食品部門は、競合店の新規出店および巣籠り需要が一巡し前年同期を下回りました。この結果、売上高は16億49百万円(前年同期比0.5%増)となりました。利益面は、広告宣伝費等の販管費が増加しましたが、粗利益率の高いオリジナル商品が靴専門店を主に伸ばした結果、売上総利益率は改善し、セグメント利益は54百万円(前年同期比4.6%増)となりました。

③ 卸販売事業

卸販売事業におきましては、主力取引先からの大口受注や新規取引先への販売が徐々に増加しつつある一方で、取引先全体としての需要は力強さに欠け、若干の伸びに留まりました。この結果、売上高は90百万円(前年同期比1.9%増)、利益面は、在庫の評価替え等によりセグメント損失0百万円(前年同期は利益4百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債および純資産の状況の分析)

① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べ13億74百万円増加し、123億83百万円となりました。これは、現金及び預金が16億82百万円増加し、商品が2億54百万円、売掛金が1億20百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ52百万円減少し、56億74百万円となりました。これは、建物及び構築物が48百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ13億22百万円増加し、180億57百万円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べ2億44百万円増加し、41億70百万円となりました。これは、1年内返済予定の長期借入金が1億55百万円、未払法人税等が70百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ8億80百万円増加し、62億70百万円となりました。これは、長期借入金が8億87百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ11億25百万円増加し、104億40百万円となりました。

③ 純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億96百万円増加し、76億16百万円となりました。これは、利益剰余金が1億72百万円増加したこと等によるものであります。自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ2.1ポイント低下し、42.2%となりました。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)の残高は、前連結会計年度末に比べ10億82百万円増加し、41億39百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各活動によるキャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、6億97百万円(前年同期は7億94百万円の獲得)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益3億26百万円の計上、棚卸資産の減少額2億17百万円、売上債権の減少額1億20百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、6億3百万円(前年同期は18億16百万円の使用)となりました。これは主に、定期預金の預入による支出8億円、定期預金の払戻による収入2億円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、9億87百万円(前年同期は13億67百万円の獲得)となりました。これは主に、長期借入れによる収入16億円、長期借入金の返済による支出5億56百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現在の状況を踏まえ、2022年5月10日の決算短信にて発表しました2023年3月期の業績予測を見直した結果、当該四半期において2023年3月期の連結業績予想を修正しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,056,660	8,739,192
受取手形	374	-
売掛金	898,388	778,078
商品	2,867,212	2,613,129
未着商品	101,408	137,880
貯蔵品	13,668	13,672
その他	78,760	110,104
貸倒引当金	△8,337	△8,980
流動資産合計	11,008,136	12,383,076
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,164,283	2,115,960
土地	3,098,931	3,098,931
その他(純額)	146,981	135,075
有形固定資産合計	5,410,196	5,349,968
無形固定資産	50,874	46,529
投資その他の資産	266,207	278,058
固定資産合計	5,727,279	5,674,556
資産合計	16,735,415	18,057,632
負債の部		
流動負債		
買掛金	805,875	804,906
1年内返済予定の長期借入金	2,015,613	2,171,347
未払法人税等	71,774	141,827
賞与引当金	117,296	73,953
役員賞与引当金	-	2,000
契約負債	22,583	21,849
その他	892,445	954,705
流動負債合計	3,925,589	4,170,588
固定負債		
長期借入金	5,102,176	5,989,525
退職給付に係る負債	180,473	179,289
資産除去債務	35,074	35,233
その他	72,309	66,357
固定負債合計	5,390,033	6,270,405
負債合計	9,315,622	10,440,994

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	450,452	450,452
資本剰余金	1,148,990	1,148,990
利益剰余金	5,932,760	6,105,471
自己株式	△151,191	△151,191
株主資本合計	7,381,010	7,553,721
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,295	2,085
繰延ヘッジ損益	20,775	47,318
為替換算調整勘定	15,712	13,512
その他の包括利益累計額合計	38,782	62,916
純資産合計	7,419,792	7,616,638
負債純資産合計	16,735,415	18,057,632

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	4,444,421	4,152,429
売上原価	2,199,834	2,135,987
売上総利益	2,244,586	2,016,441
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	468,646	452,787
貸倒引当金繰入額	1,827	3,314
給料手当及び賞与	434,055	429,623
賞与引当金繰入額	76,875	73,953
その他	790,942	737,792
販売費及び一般管理費合計	1,772,347	1,697,470
営業利益	472,238	318,971
営業外収益		
受取利息	941	2,006
受取配当金	818	1,261
為替差益	-	2,264
受取補償金	3,005	4,235
その他	4,823	4,565
営業外収益合計	9,589	14,333
営業外費用		
支払利息	7,174	6,437
為替差損	2,370	-
その他	5,719	444
営業外費用合計	15,265	6,882
経常利益	466,562	326,421
税金等調整前四半期純利益	466,562	326,421
法人税、住民税及び事業税	156,414	129,998
法人税等調整額	△8,079	△24,996
法人税等合計	148,335	105,001
四半期純利益	318,227	221,419
親会社株主に帰属する四半期純利益	318,227	221,419

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	318,227	221,419
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,006	△209
繰延ヘッジ損益	△10,030	26,543
為替換算調整勘定	△455	△2,199
その他の包括利益合計	△12,493	24,133
四半期包括利益	305,734	245,553
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	305,734	245,553
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	466,562	326,421
減価償却費	67,860	67,742
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△416	642
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△49,949	△43,343
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,075	2,000
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△34,963	-
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	1,753	△1,184
受取利息及び受取配当金	△1,760	△3,268
支払利息	7,174	6,437
為替差損益 (△は益)	△12	△360
売上債権の増減額 (△は増加)	213,835	120,711
棚卸資産の増減額 (△は増加)	583,539	217,607
仕入債務の増減額 (△は減少)	△300,119	△1,247
契約負債の増減額 (△は減少)	37,112	△733
その他	52,358	65,227
小計	1,045,050	756,654
利息及び配当金の受取額	2,826	4,158
利息の支払額	△7,579	△6,672
法人税等の支払額	△245,903	△56,271
営業活動によるキャッシュ・フロー	794,393	697,869
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,800,300	△800,000
定期預金の払戻による収入	-	200,000
有形固定資産の取得による支出	△11,472	△3,640
有形固定資産の売却による収入	35	-
無形固定資産の取得による支出	△815	-
投資有価証券の取得による支出	△149	△149
その他	△4,000	30
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,816,702	△603,759
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	2,000,000	1,600,000
長期借入金の返済による支出	△578,333	△556,917
配当金の支払額	△46,549	△46,716
その他	△8,010	△9,139
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,367,107	987,226
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,066	1,195
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	345,865	1,082,532
現金及び現金同等物の期首残高	2,750,216	3,056,660
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,096,082	4,139,192

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報ならびに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	通信販売事業	店舗販売事業	卸販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,715,061	1,640,848	88,511	4,444,421	—	4,444,421
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,715,061	1,640,848	88,511	4,444,421	—	4,444,421
セグメント利益	516,682	51,810	4,129	572,621	△100,383	472,238

- (注) 1 セグメント利益の調整額△100,383千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に現業支援本部等管理部門に係る一般管理費であります。
- 2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 3 当社グループの売上高は、受取家賃9,717千円を含み、その他はすべて顧客との契約から認識した収益です。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報ならびに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	通信販売事業	店舗販売事業	卸販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,412,894	1,649,369	90,165	4,152,429	—	4,152,429
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,412,894	1,649,369	90,165	4,152,429	—	4,152,429
セグメント利益又は損失(△)	371,909	54,203	△419	425,693	△106,722	318,971

- (注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△106,722千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に現業支援本部等管理部門に係る一般管理費であります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 3 当社グループの売上高は、受取家賃9,048千円を含み、その他はすべて顧客との契約から認識した収益です。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書(追加情報)に記載した、新型コロナウイルス感染症の影響について重要な変更はありません。